



日本共産党 川口 知子
市営住宅確保は市の責務

18

問市営住宅の空室は、川合市政の6年間で83戸増え2月1日で181戸。貧困の広がりのもと、早期に改修し住宅困窮者に貸出すべきではないか。

答市長 市営住宅の空室の中には、老朽化に伴う大規模な改修工事が必要な住宅が多数あるため、改修工事を行うように進まず、十分な供給ができていない状況であること

は認識している。

このような状況を解消し、住宅に困窮している方々へできる限り多くの市営住宅を提供できるよう努めていきたいと考えている。



問住宅政策

安比奈車両計画の廃止

大東健康ふれあい広場



公明党 田畑 たき子
地域における子育て支援

19

問祖父母が育児に関して学ぶことで、自分の孫だけでなく地域における子育て支援につながると思うが、市はどう認識しているか。

答ことも未来部長 祖父母が育児に関心をもち、現在の育児方法について学ぶことは、自分の孫の育児だけでなく、地域の子どもたちの育ちにも関心をもつようになる方も

現れることが考えられる。

その結果、ファミリー・サポート・センター事業の提供会員となっただけ、地域の子どもを預かってもらえるようになれば、地域における子育て支援につながるものと認識している。

問祖父母手帳で孫育て



公明党 近藤 芳宏
交通弱者の移動手段確保を

20

問川越シャトルの一部路線廃止から2年以上経過しているが、デマンド型交通の導入について、市長はどのように考えているか。

答市長 公共交通を充実させ、市民の生活の足を確保する必要性は、今後ますます高くなっていくと考えている。

公共交通を充実させるには、市単独の取組では、

地域担当職員制度

デマンドタクシー事業

財政負担が大きくなるなどの課題がある。将来にわたり公共交通を維持するため、市民・事業者・行政の3者が連携した取組が重要と考えている。

デマンド型交通を含めた新たな交通について、現在検討中の総合交通戦略の中で早期に方向性を出していきたい。



公明党 小ノ澤 哲也
徹底した早期の予防保全を

21

問道路が亀の甲羅の様にひび割れると補修が出来なくなる。そうなる前の亀裂が入った段階で徹底して補修を行うことが重要であるが、市の考えは。

答建設部長 道路の予防保全で考えられる維持管理については、日常の道路パトロールや市民から寄せられる情報等をもとに、道路にあいた穴やひび割れ等の補修箇所を、

常温合材や路面充填剤等で応急的に補修し、路面の予防保全に努めている。

道路のひび割れが広がり、亀甲状になる前の早期補修は、舗装の長寿命化を図るうえで重要であると考えている。今後も、舗装の損傷状況に応じて、適切に対応していく。

問インフラの維持管理



市民フォーラム 高橋 剛
貧困の連鎖を断ち切れ！

22

問貧困が世代間で引き継がれてしまう貧困の連鎖を断ち切る必要性がある。それに向けて取り組む決意を市長に伺う。

答市長 子どもの将来が、その生まれ育った環境に左右されず健やかに育成されることは、国民の責務であると認識している。

そのため、子ども等の生活の支援などとして、平成28年度から、ひとり

貧困の連鎖を断つ施策

伊佐沼周辺の将来像

親家庭への学習支援事業などを実施していく。子どもは、希望と可能性の象徴であり、健やかな成長を支え、将来の可能性をより高めるため、きめ細かい支援を一層充実させ、貧困の連鎖を断ち切るための各種施策の実施に積極的に取り組んでいく。



やまぶき会 矢部 節
市有財産の有効活用促進

23

問用途が終了した施設の活用について早急に再活用の決定をすることで財政面において有益と考えるが、市の見解を求める。

答政策財政部長 来年度、組織改正を行い、総合政策部として政策部門を独立させる。これまでは、政策決定に比較的時間がかかっていたが、今後は、より迅速かつ的確に、政策決定できるような体制

を整えていきたいと考えている。

市有財産の有効活用



市有財産の有効活用

市政の政策決定

ふるさと納税